からしだね

からしだねの由来　マタイ 13 章 31 節、マルコ４章 30 節、ルカ 13 章 18 節

ホームページアドレス　http://mizumaki-church.sakura.ne.jp

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南１丁目 35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第 440 号

流　行　語　大　賞

フランシスコ・アシジ　谷口尚志

昨年の 11 月から直方教会の主任司祭も務めているからなのか、度々、「二つの教会をもって神父様も大変ですね」と声をかけて下さる方がいらっしゃいます。ミサの開始時間も変更を余儀なくされるし、相談でもしたい時には司祭館にいない、携帯電話にかけても出ない時もある始末。かなりの迷惑をかけてしまっているのではないかと思います。大変なのは振り回されている信徒の皆さんの方なのに。ドタバタする時があっても相応の対応ができるようにならなければと願いつつ、優しい心遣いに対する感謝の気持ちを忘れまいとする今日この頃です。

さて、この時期になると今年の流行語大賞にはどんな言葉が選ばれるのかが気になってきます。実際、使っている言葉ではなかったり、そもそも意味が分からない言葉だったりしますが、巷ではどんなことに興味が向けられているのかを知ることができる点で何かと役に立つからです。今年はどの言葉が選ばれるのかはまだ分かりませんが（12 月のはじめに発表予定）、「〇〇界隈」（地理的な意味で“その辺り”を指しますが“共通の人々”を指す言葉として、いわゆるＺ世代間で使われています）、「裏金問題」、「闇バイト」、「ホワイト案件」（闇バイトの募集ではないという意味を込めた言葉で、逆にそのことに安心しきった人が騙されてしまう場合もあるようです）などが候補として挙がっているようです。ところで、私個人としては今年の流行語大賞には「もったいない」という言葉が選ばれて欲しいと願っています（候補にすら挙げられていませんが）。この言葉は、いま洗礼を受けるために準備をしている方が勉強会の際、神を認めない人がいることや、信者が教会から離れている様子や、家族の中で一人だけミサに来ている様子などを知って私につぶやいた言葉で、それからずっと耳の中でこだましています。

流行語が飛び交う巷ではクリスマス商戦の真っ最中。「もったいない」は今の時期、特に巷で飛び交って欲しい言葉です。多くの人にとってクリスマスは一過性のものだからです。一過性のものにしてしまうなんて非常に「もったいない」。クリスマ

がんば３・今月の聖人・・・・・・・・２面
教会学校のページ・・・・・・・・・・３面
外国語ミサの話（6）・・・・・・・・・４面
幼稚園から・・・・・・・・・・・・・５面
委員会等報告・・・・・・・・・・６・７面
死者の日の祈り・・・・・・・・・・・７面
お知らせ・・・・・・・・・・・・・・８面

スによって始まることになる共に歩む人生。その喜びを持つことができればどんなに素晴らしいことでしょう。

感謝を表す言葉は「有難う」。「もったいない」ものにしてはいけないから「有難う」。感謝の気持ちを忘れず、「もったいない」生き方をしないようにと自分に言い聞かせて歩みたいものです。

「お花を生ける会」　　　　川島　幸子

現在７名のメンバーがご奉仕させていただいております。

長年ご奉仕くださった常定さんが帰天され、また体調不良などで２名の方が退会されました。水巻共同体のためにご奉仕頂きまして心から感謝申し上げます。

その後新たに３名の方が加えられました。神様がお送りくださったものと喜んでおります。

日曜日の感謝の祭儀の壇上に飾るお花は信徒の悔い改めた新しいきれいな心です。私達の活動の精神は、その心をお花に託して捧げるものだと思いますので、私たちは信徒を代表して奉仕をさせて頂いています。

納骨堂のお花については、死者の安息を祈る心と、私たちの平安の為に祈ってくださる事を願う献花です。

マリア様へ捧げるお花は敬愛を込めて生けています。

毎週のミサの前日に数名ずつ集まり、庭に咲く季節のお花や教会暦に合わせた花材などを調達して、それぞれのお花がもっとも美しく見えるように、神様に喜んで頂けるようにとお互いが工夫しながら楽しんで活動しています。

今月の聖人

24 日　聖シェーベル・マクルーフ司祭（？～1898 年）

シェーベルは、熱心なカトリック信徒であり、聖ヨハネ・クリゾストモの友人聖マロの名前をとったマロン教会のグループに属していました。このグループの信徒たちの多くは、レバノンに住み、12 世紀から西方教会と一致して、西方教会にキリスト教会の伝統、特に節制の規律をもたらしたといわれています。この伝統を明らかに示したのがシェーベルです。

19 世紀に、彼は他の修道士とともに、初代教会の教父たちが荒野で行った厳しい祈りと修行の生活を続けました。質素な食事と沈黙、祈りの生活によって、ますますシェーベルの心は研ぎ澄まされ、神と人びとを求めていきました。23 年間の修行の生活を全うし、彼は降誕祭（12／25）の前夜に天に召されました。

教会学校のページ

10 月 12 日土曜日幼稚園のバザーにて能登半島被災地の為に教会学校の子ども達がバルーンアート・ハロウィンタトゥー等をして募金を集めました。皆様のご協力で¥5,835 集まりました。

11 月 10 日(日)ミサ後、直方教会と水巻教会の子ども達がハロウィンのかぼちゃ作りをしました。かぼちゃは直方教会の信徒の方の家で採れた物だそうです。大きなかぼちゃに、大人も子ども達も悪戦苦闘していました。大きなハロウィンかぼちゃは、１７日の日曜日に教会の入り口に飾りました。

外国語ミサの話　⑹　　　　　　　　岩本光弘

古賀教会にいたジュド神父はスリランカの出身でした。私とは、外国人問題を一緒に取り組んでいて、信頼できる司祭でした。神父の出身地のスリランカは長い間、民族間の争いが原因の内戦が続いていましたが、一度は行ってみたい国だったので神父に「内戦が収まったら連れて行ってください」と頼んでいました。

内戦が終わって一年後の秋に神父から電話があり「今度帰国するので一緒に行きますか」と電話がありました。行くのは１月と言うのです。話があってから２か月もありませんでしたが、妻と一緒に行くことにしました。この旅には古賀教会の人たちが 10 人と古賀教会の若い司祭とそのお母さんが一緒でした。キャセイパシフィック航空の福岡支店がチケットを用意してくれたそうで、空港に支店長が見送りに来ていました。

香港で乗り継いで、夜にコロンボの空港に着きましたが、空港から１時間もかからずにホテルに入りました。翌朝、ホテルの周りを歩いてみると雰囲気が少し違うのを感じました。近くのバス停の小屋の奥にはマリア像があり、バス停に来た高校生がマリア様に向かって祈りをしていました。スリランカは仏教の国と言う意識がありましたので、不思議でした。

その日、近くの教会のミサに行くことになり、ジュド神父が迎えに来てくれました。同じ地域にある地元の教会はホテルの近くにありましたが、広大な敷地でした。聖堂も大きくて座席と祭壇の間も大きく開けてありました。私たちは前の方に座ったのですが、ジュド神父が来て「皆さんは後ろに座ってください」というので後ろの方に行きました。

ミサの時間が近づくと前の方の座席は小学校高学年と中学生が座り始め満席になりました。小さな子どもや小学校低学年の子どもたちは祭壇の前の空いたところに座りました。そこだけで 100 人以上いるようでした。教会は信徒で満席でしたが、よく見ると祭壇を挟んで左右にも座席がありそこも満席でした。参列者は 1000 人近くだったように思いました。後で聞いたのですが、先読みも朗読もすべて中学生が担当しているそうで、開会の時や聖変化の時などはすべて聖堂の上の大きな鐘が鳴らされました。これにはびっくりしましたが、とても印象的でした。

ミサの後は教会学校が行われていました。教会の敷地は日本の学校の運動場以上の広さがあるので、各所の東屋や木陰など様々な所に散らばり、それぞれ 20 人位ずつ集まって授業が行われていました。素晴らしい風景だったのが印象に残っています。

この日のミサはジュド神父が司式しましたが、ジュド神父はミサの時に必ず笑わせる話を１回は入れます。この時のミサでも説教の時に信徒たちが爆笑したので、ミサの後に神父に何と言ったのですかと言うと「ここの主任司祭は厳しい人なので、主任司祭と逆のことを話した」というのです。何と言ったのですがと問い詰めると、主任司祭はベールを付けることに厳しいのを知っていたので、ベールを付けなくても天国に行けると言ったそうです。

水巻聖母幼稚園　マリア子どもの家　１２月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

〈水巻聖母幼稚園〉

１１月６日、教会で七五三祝福式があり、神父様に祝福をしていただきました。お部屋に戻ってから、子ども達に、神父様のお話はどんなお話だったか聞いてみると、「お友達のことを応援する」「ありがとうを言う」などの声がありました。子ども達の心の中にも、神父様のお話がきちんと入っていたことに嬉しく思いました。

秋の遠足で、今年は学年別で園バスに乗って、岡垣の山田農園にみかん狩りに行ってきました。自分たちで収穫したみかんを食べて、「甘酸っぱいね～！おいし～い！」と言ってとても嬉しそうでした。お天気にも恵まれ、秋の自然の中で楽しい時間を過ごせました。

ＴＥＬ：093 201 9559
e-mail：coutactus@mizumakiseibo.ed.jp

〈マリア子どもの家〉

教会で七五三祝福式がありました。

幼稚園のお兄さん・お姉さん、未就園児を連れた保護者の方々と一緒に参列しました。神父様のお話や讃美歌、七五三の歌、共同祈願があり、最後に一人ひとり按手して頂き、おメダイを掛けてもらいました。又、参加しなかった月齢が低い子ども達の為に、神父様がお部屋に来て祝福して下さいました。神様、これまでの健やかな成長を有難うございます！

やっと朝夕涼しくなり、心置きなく畑で過ごすことができるようになりました。蝶やバッタ等を見つけては、嬉々として見、追いかけています。又、みんなで、畑やプランターの土を耕し、種や球根を植えています。チューリップ、ナデシコ、ポピー、カスミソウ、千鳥草など、どんな葉っぱが出て、どんな花が咲くでしょう？一緒に寒い冬を頑張ろうね！

TEL　：　050　5212　7759
https：www.mariahouseofchildren.jp
水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家
園長　水口　由美　　教職員　一同

委　員　会　等　報　告　2024 年 11 月分

１１月度小教区委員会　１１月３日

１．行事予定

・１２月　１日(日)　１１時～ミサ
ミサ後～小教区委員会
１４時～第４回地区聖書講座(待降節の黙想会を兼ねる)。

・１２月　６日(金)　１１時～１２時、１８時半～19 時半／水巻教会にて個別のゆるしの秘跡（Fr,キム･ソンチョン師）

・１２月　８日(日)　９時～ミサ
ミサ後～教会学校、こころの会

・１２月１５日(日)　１１時～ミサ
１８時～ベトナム語ミサ

・１２月２２日(日)　９時～ミサ
ミサ後～教会学校

・１２月２４日(火)　＜主の降誕・夜半＞
１８時半～ミサ。今年は聖誕劇なし。

・１２月２５日(水)　＜主の降誕・日中＞
１１時～ミサ。

・１２月２９日(日)＜聖家族＞１１時～ミサ。入門式

・１２月３１日(火)　１６時～感謝の集いと聖体賛美式（教会の祈り)。

・１月１日(水)＜神の母聖マリア＞
９時～ミサ。ミサ後～車の祝別。

２，議題

（１）各専門委員会および代表委員（営繕、納骨堂、冠婚葬祭)、北九州地区宣教司牧評議委員より

①広報委員会

・10 月 20 日（日)、これからの広報活動の在り方について小教区委員会からの代表数名（主任司祭、小教区委員長、広報委員長を含む）が集まり、そのための準備会を開いた。今後、日時を調整して実務にあたっている広報委員を交えて会議を開く。

②典礼委員会

・10 月 20 日（日）ミサ後～典礼委員会を開き、主の降誕の典礼についてのおおまかな確認を行った。今年も 12 月 24 日（火）18 時半～ミサにおいて以下のグループに共同祈願作成をお願いすることとなった。役員会、レプトン会、ふれあい会、教会学校、ベトナムの青年たち。

③総務委員会

・特になし

④財務委員会

・特になし

⑤営繕の部

・幼稚園、教会堂に入るための門扉前の段差について。はがれていた注意喚起のためのテープを新しいものに張り替えた(このような対応を続けざるを得ない)。

・聖堂内で使用できるコードレスのハンディ掃除機を購入する。

⑥納骨堂管理の部

・事務員からの提案もあり、納骨堂の利用者についてデータで管理できるように作業をしていただいている

⑦冠婚葬祭の部

・特になし

⑧北九州地区宣教司牧評議会

・12月１日（日）14時から、第４回地区聖書講座が当教会にて行われる(ポスターを参照)。待降節における聖書講座なので黙想することを念頭に置いた内容として準備されている。信徒の参加をお願いしたい。※講座終了後の交わり会についての菓子類や飲みもの等は役員会で準備。当日は信徒会館にブルーシートを敷き、ふれあい会の協力のもと、セッティングと片づけを行う。

（２）その他

・来年度も引き続き、教区創立100周年のための共同祈願作成をお願いしたい。１月➡芦屋･遠賀地区（濱村)、２月➡折尾･高須青葉地区（アプドゥハン恭子)、３月➡典礼委員会（浅田)、４月➡総務委員会（岩本)。

・侍者服（基本的に「アルバ」と呼ぶ）を新調してはどうか。まずは信徒に呼びかける（縫製できる方がいらっしゃるかもしれないので)。

・抱樸支援のための炊き出し（11/8）に、12名ほどの協力者が集まって下さることになった。130個の弁当を準備する（前回より増えている)。

・図書係より。第１、第２週の日曜日に行っている譲渡会にあわせ、「つなぐ書店」の活動に寄与するために古本の寄付を呼びかけたい。「つなぐ書店」に集められた古本は査定され､その買い取り金額の全ては教育機関や公益団体に寄付される｡※何でも寄付できるということではないため､「つなぐ書店」の活動に関して信徒に説明をお願いしたい。

・今年のクリスマパーティーは12/29(日)の11時～ミサ後に行う。おにぎり類➡折尾･高須青葉地区､グラタン➡芦屋･遠賀地区､飲み物類➡梅ノ木･吉田･中間地区､ケーキ➡赤間･海老津地区、ベトナムの青年たち。

※ブルーシートは11/30（土）の午前中に信徒会館内に敷き、以降、「ふれあい会」の場としても利用してもらう。

・役員会より。来年１月の小教区委員会は２月にまとめて行う。

ベトナムの青年による、死者の日の祈り(納骨堂にて)

死者の日(１１月２日)の次の日、１１月３日(日)ミサ後、納骨堂でベトナム青年による死者の日の祈りが捧げられました｡教会の信徒も数名が参加し､ベトナム青年とともに祈りを捧げました。ベトナムで死者の日によく歌われている「Từ chốn luyện h ì nh」などの歌を歌いました。

12月のおしらせ

★特別献金★

１０月２０日　　世界宣教の日献金
１７，８９３円

ご協力、ありがとうございます。

★募金を送金しました★

９月２２日～１０月２７日までに集まったお金を送金しました。

能登地震支援	５５，４９８円
能登地震支援(教会学校)	５，８３５円
ガザ人道支援	３２，７３１円

引き続き、募金のご協力をお願いします。

★レプトン会からのお願い★

伊万里のトラピストのクッキーとミサワインの申し込みを１２月１日(日)まで受け付けます。売上金はペルーへの支援の一部となります。申込表は聖堂の後に置いてあります。品物は１２月１５日からお渡しする予定です。

★待降節の黙想会★

日　時：１２月１日(日)　１４時～

この日は、第４回地区聖書講座が水巻教会で行われます。今年は、この聖書講座を黙想会とします。たくさんの方の参加をお願いします。

★個別のゆるしの秘跡★

日　時：１２月６日(金)

１１時～12時、18時半～19時半

神父　キム·ソンチョン師が行います。

★街頭募金★

日　時：１２月22日(日)　ミサ後

場所等詳しいことは、ミサ中のお知らせで確認してください。

★降誕祭夜半・降誕祭日中ミサ★

☆降誕祭夜半

日　時：１２月２４日(火)　１８時半から

※今年は聖劇はありません。

☆降誕祭日中

日　時：１２月２５日(水)　１１時から

★クリスマスパーティー

日　時：１２月２９日(日)　ミサ後

クリスマスパーティーを行います。各地区・ベトナムの青年が飲食物を担当します。

★感謝の集い★

日時：１２月３１日(火)16時～

聖体賛美式と「教会の祈り」を行います。

★神の母聖マリア★

日　時：１月１日(水)　午前９時～

昨年より早くなっているので気を付けてください。

この日は、車の祝別があります。

人・ひと

【帰天】安らかに！

１１月９日

◇ペトロ　川島　晋二さん(中間地区)